

京都中部総合医療センター

医師臨床研修 オンライン病院説明会

2020年7月18日（土）

1. 臨床研修プログラム

2. 研修医の出身大学

3. 当院を臨床研修病院に選んだ決め手

4. 臨床研修後の進路

今日はあなたも研修医！

5. 診断推論カンファレンス

1. 臨床研修プログラム

2. 研修医の出身大学

3. 当院を臨床研修病院に選んだ決め手

4. 臨床研修後の進路

今日はあなたも研修医！

5. 診断推論カンファレンス

当院の臨床研修の目的

将来、臓器別専門医になっても総合医的視点を持ち
これからの時代に活躍できる医師へ成長する

大学病院クラス



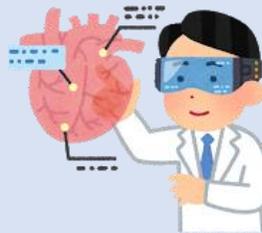
地域中核病院
400床前後



小規模医療機関
100床前後



臓器別専門医



総合医

ニーズに応じて変化する求められる役割を果たす

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科(24週), 一般外来研修							救急 (12週)			必修 or 自由選択		

内科, 小児科, 外科, 整形外科, 産婦人科等の救急研修

2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修 or 自由選択			地域		必修 or 自由選択			必修 or 自由選択				

京丹波町病院, 川西診療所 各2週間

希望者は2年次の9月~翌年3月の間に1か月間京都府立医科大学附属病院での研修が可能

必修科目

内科(24週間), 救急(12週間), 地域医療(4週間), 外科(4週間), 小児科(4週間), 産婦人科(4週間), 精神科(当院, 福知会もみじヶ丘病院 各2週間)

先輩研修医のローテーション内容を聞いてみよう!!

自由選択科目

内科 (循環器, 呼吸器, 消化器, 血液, 神経, 腎臓, 内分泌代謝)
 外科 (消化器, 呼吸器, 乳腺, 小児), 整形外科, 泌尿器科, 小児科, 産婦人科, 麻酔科, 放射線科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 皮膚科, 精神科, 病理診断科, 脳神経外科

自由選択科目はどうやって選んでいるの？



研修医2年目
光岡真優香先生

自由選択では麻酔科や放射線科は、多くの研修医が選択しています。

そのほか、私は、志望科である産婦人科を中心に、
同じ骨盤内臓器を扱う泌尿器科に加え、
今月は病理診断科で毎日顕微鏡を見ています。

また救急対応もしっかりできるようにしたいので
救急科も2年目に研修しました。

今後は個人的に苦手かつ、どの診療科であっても必要となると思う
精神科も研修する予定です。

本当に自由度が高いローテーションであり、ぎりぎりまで悩み、
毎月ぎりぎりに頼みに行っています。

病棟（入院患者担当）での研修

日々の診察



治療方針などについて
上級医と一緒に決定



患者への病状説明に同席
検査や処置，手術に入る



各診療科カンファレンス



調べもの，サマリー
カンファレンス準備



研修医は主治医とともに
担当医として診療します。
研修医が少人数なので
症例や各種手技は十分に
経験可能です。

先輩研修医の病棟業務の
様子を聞いてみよう！！

入院患者さんの担当ってどんなことをするの？



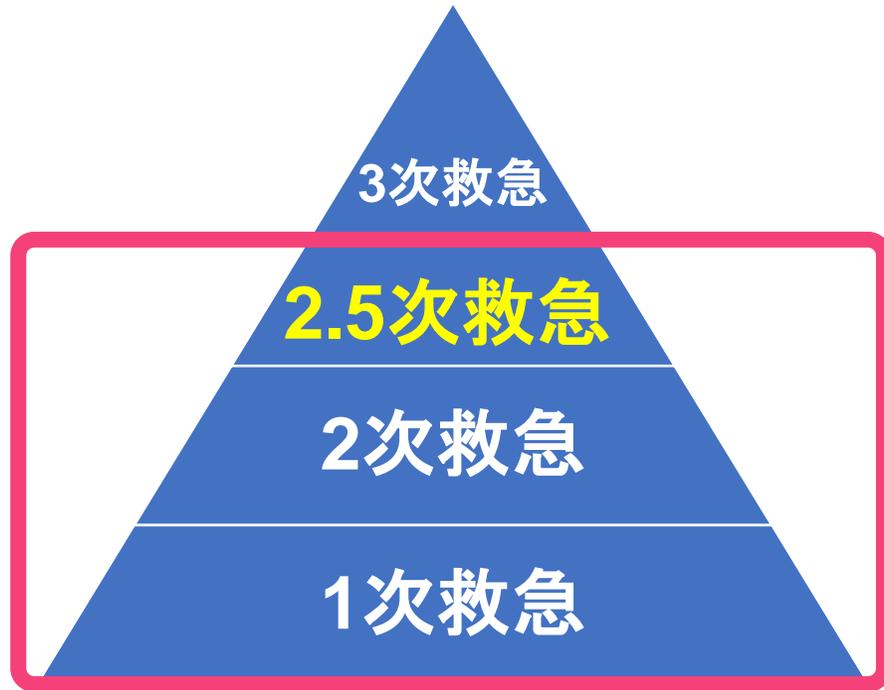
研修医1年目
吉田尚平先生

現在、内科の各診療科を順番にローテーションしているのですが、自分が主体的に検査・治療計画まで考えるようにしています。

具体的には腎盂腎炎の患者さんに対する
抗菌薬の選択、点滴薬から内服薬への切り替え、
血液検査のタイミングなど自ら考えています。

主治医の先生とディスカッションして治療方針を最終決定しますが、「立場が人を作る」という言葉のように責任を持って患者さんと向き合い自分の成長を実感しながら研修できています。

救急研修



救急車受け入れ件数

1病院あたり平均
(京都府2017年)

1612 件

当院
(2018年)

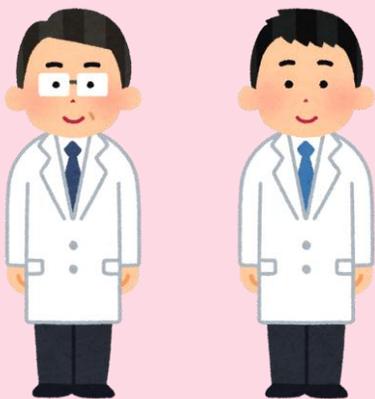
2925 件



先輩研修医の救急の様子を聞いてみよう！！

当直業務は主に救急業務です

上級医の指導のもと
診療します。



問診，診察



どんな検査を行うか，
また治療方針について
上級医と相談して決める



結果説明や今後の方針
について患者説明を行う



- ・月に4～5回の日当直です。
- ・当直翌日の勤務形態は半日勤務可です。



先輩研修医の当直の
様子を聞いてみよう！！

当直ではどんなことをしているの？



研修医1年目
吉田尚平先生

科の垣根を超える連携の取れた当直ができています。

20歳代の女性で右側腹部痛が主訴の方が受診されたとき、最初は虫垂炎を疑いましたが、CT検査で虫垂炎は指摘できず、内科・外科・産婦人科の先生の協力を得て、最終的にクラミジア感染による腹痛と診断することができました。

このように様々な科と連携がしやすく、それだけに自分でも鑑別疾患を考えた上でコンサルトする必要があると感じました。

1. 臨床研修プログラム

2. 研修医の出身大学

3. 当院を臨床研修病院に選んだ決め手

4. 臨床研修後の進路

今日はあなたも研修医！

5. 診断推論カンファレンス

年度	出身大学		男：女
2016	京都府立医科大学 福井大学 慶應義塾大学	2名 1名 1名	2 : 2
2017	京都府立医科大学 北里大学 福井大学 浜松医科大学	2名 2名 1名 1名	3 : 3
2018	京都府立医科大学 関西医科大学 産業医科大学	1名 1名 2名	4 : 0
2019	京都府立医科大学 金沢医科大学 宮崎大学 滋賀医科大学 兵庫医科大学	1名 1名 1名 1名 1名	2 : 3
2020	京都府立医科大学 熊本大学	4名 2名	5 : 1

1. 臨床研修プログラム

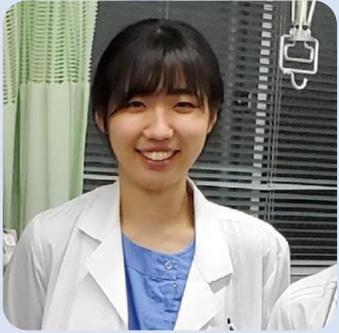
2. 研修医の出身大学

3. 当院を臨床研修病院に選んだ決め手

4. 臨床研修後の進路

今日はあなたも研修医！

5. 診断推論カンファレンス



研修医1年目
阿部秋子先生

地域の中核病院で、将来どの診療科にすすむとしても、困らないように、しっかりと症例の経験をしたかったのでcommon diseaseをたくさん経験できる病院、かつ、研修医の人数も10人弱くらいがいいなと考えていました。実際に見学に来て、私が理想としている研修ができると思い、この病院に決めました。また研修医の出身大学にも偏りがなかったことも決め手となりました。



研修医1年目
吉田尚平先生

1年目から自由選択の期間があり、将来の志望科を1年目から経験できる点が魅力でした。診療科も充実しており、地域実習を除いた2年間の大部分をこの病院の研修で完結できる点が大きなメリットと感じました。生活面においてもアクセス可能な範囲で飲食店やスーパーがあり、充実した私生活ができることも当院を選んだ理由の一つです。



研修医2年目
光岡真優香先生

まず京都での研修を希望していたことと
①内科や救急をしっかりと見たい、②人数は多すぎず少なすぎない5~6人ほど、
③救急件数が多い、④当直が週に1回程度、
という私の希望にマッチしていたことから当院を選びました。
良き同期と先輩方に囲まれ元気に研修しています。

1. 臨床研修プログラム
2. 研修医の出身大学
3. 当院を臨床研修病院に選んだ決め手
- 4. 臨床研修後の進路**
5. 診断推論カンファレンス

今日はあなたも研修医！

臨床研修終了後の進路

	2016	2017	2018	2019
当院で研修継続	1	0	2	0
京都府立医科大学附属病院	1	1	2	2
京都府立医科大学関連病院	1	1	0	0
その他の大学, 市中病院	1	1	1	1

- ・ 2004年に臨床研修制度が始まり、これまで96名の初期研修医の先生が巣立っています
- ・ 専攻科は、内科全般、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、精神科、病理診断科、など幅広い分野を専攻しています
- ・ 当院で初期研修を終えた先生のうち2名は、現在内科専攻医として研鑽を積んでいます。

皆さんの進路を応援します！

今日はあなたも研修医！

診断推論カンファレンス

What's your diagnosis?

本日提示する症例は架空であり登場する人物、名称などは実在のものとは関係ありません。

研修医 1 年目

【状況】 12月のとある土曜日の日直（救急室勤務）。
仕事にも慣れてきて、問診、診察、アセスメント、
上級医への報告、相談も我ながらそつなくできるよう
になってきたなと思っている。

最近はインフルエンザやノロウイルスが増えており
今日も朝から、発熱や嘔吐、下痢を訴える患者が
次から次へと受診している。

35才, 女性

【主訴】 嘔気, 嘔吐

【現病歴】 2日前から倦怠感と嘔気があった。
今朝3時に嘔吐した。
これまでにこのような症状を経験したことはなく、
倦怠感と嘔気が持続しているため当院を受診した。

【既往歴】 特になし

追加問診は？

身体所見

血圧 98/66 mmHg, 脈拍 73/min, 呼吸数 22/min,
体温 36.8°C, SpO₂ 98% (室内気)

全身状態 独歩で入室し整容保たれている。

頭頸部 貧血や黄疸なし

心音肺音 とともに異常なし

腹部 平坦, 軟, 腸蠕動音は減弱亢進なし, 圧痛なし

鑑別疾患は？

検査結果

血算

白血球	8500	/ μ L
赤血球	240万	/mm ³
Hb	13	g/dL
血小板	19万	/ μ L

生化学

肝機能障害なし

腎機能障害なし

Na	140	mEq/L
K	4.2	mEq/L
Cl	104	mEq/L
血糖値	534	mg/dL

血液ガス (動脈)

PH	7.22
PaCO ₂	37 mmHg
PaO ₂	90 mmHg
HCO ₃ ⁻	14.2 mmol/L

尿検査

定性	蛋白	-
	糖	2+
	潜血	-
	ケトン体	2+
妊娠反応	陰性	

検査結果

血算

白血球	8500	/ μ L
赤血球	240万	/mm ³
Hb	13	g/dL
血小板	19万	/ μ L

生化学

肝機能障害なし		
腎機能障害なし		
Na	140	mEq/L
K	4.2	mEq/L
Cl	104	mEq/L
血糖値	534	mg/dL

血液ガス (動脈)

PH	7.22	
PaCO ₂	37	mmHg
PaO ₂	90	mmHg
HCO ₃ ⁻	14.2	mmol/L

尿検査

定性	蛋白	-
	糖	2+
	潜血	-
	ケトン体	2+
妊娠反応	陰性	

#高血糖
#尿糖
#尿ケトン体
#アニオンギャップ上昇型の代謝性アシドーシス

糖尿病性ケトアシドーシス

追加検査

血液検査

1~2か月前の血糖値の平均を反映する

HbA1c	9.9	%	(基準値4.6~6.2)
血中Cペプチド	0.3	ng/mL	(基準値0.61~2.09)
血中インスリン濃度	1.60	μIU/mL	(基準値1.84~12.2)
抗GAD抗体※	2000以上	U/mL	

※ (抗グルタミン酸脱炭酸酵素で膵β細胞などに存在する自己抗体)

1型糖尿病

劇症 (数日)

急性発症 (数か月)

緩徐進行型 (数年)

腹部造影CT 膵臓含め粗大病変認めず

急性発症1型糖尿病による
糖尿病性ケトアシドーシス

皆さんと一緒に働けることを 楽しみにしています!!



募集人数

5名

選考方法

面接, 小論文

試験日時

①令和2年8月21日 (金) 午後1時00分から

②令和2年8月28日 (金) 午後1時00分から

③随時